

## AALA ニュース 138号 内容紹介

### 01 日本 AALA 連帯委員会「米政府のウクライナへのクラスター爆弾供与に反対する」

アメリカ政府は「ウクライナ支援の観点から重要」としてはいますが、どの国によるものであれ、国際条約で非人道兵器として禁止されている武器の支援は正当化できません。...非人道兵器の使用が「防衛」の名のもとに容認されるとなれば、核兵器の使用にも道を開くことになると強く懸念します。

### 02 米クラスター爆弾連合「バイデンへの書簡」

全米フレンズ委員会などの平和団体のほか国際アムネスティやヒューマン・ライツ・ウォッチなどの人権団体が連合して、バイデン政権にクラスター爆弾のウクライナへの供与をしないよう要請したが、バイデン大統領はこのあと供与に踏み切った。

### 03 CBC「なぜウクライナはクラスター爆弾に熱心なのか？」

### 04 CodePink「クラスター爆弾をウクライナに送るな」

アメリカの女性反戦団体が、米議会内の動向にふれながら、クラスター弾をウクライナに送るというバイデン大統領の決定は、「アメリカの道徳的リーダーシップを著しく損なうもの」「追い詰められた他の国々がクラスター弾禁止条約違反を促すことになる」と痛烈に批判している。

### 05 トッド「いまやロシアとアメリカの戦争になっている」

世界的に著名なフランスの社会学者が講演で、ウクライナ戦争の現状を喝破し、戦争を煽るイギリスについて「西ヨーロッパの中で最も劣化し、好戦的で、戦争に熱心な国」と批判している。

### 06 Global Research「米国を第三次世界大戦に引きずり込むバイデン」

### 07 短信欄（クラスター爆弾関連）